

函 企 交 事

令和6年(2024年)1月26日

経済建設常任委員会委員 各位

函館市公営企業管理者

企業局長 手塚 祐一

参考資料の配付について

このことについて、令和5年5月6日(土)に発生した市電脱線事故に係る原因と再発防止策について、別紙のとおり資料を配付いたします。

(企業局交通部事業課 32-1723)

令和5年5月6日発生在市電脱線事故に係る原因と再発防止策について

1 発生日時 令和5年5月6日（土） 午前9時58分頃

2 発生場所 函館どつく前停留場付近

3 負傷者 なし

4 事故状況

当該車両は函館どつく前発湯の川行き電車で、函館どつく前停留場を発車後、分岐用レールを通過する際、異線方向に前輪が入り脱線した。

5 原因

降雨によりレールに沿って流れて来た木片が分岐用レールに挟まり、先端の密着不良を発生させた。そこに車両が進行し、進行方向第1軸の車輪が右側に進行、その衝撃により挟まっていた異物が外れ、第2軸の車輪が分岐用レールに乗り上げ進行方向左側に脱線したと推定される。

6 再発防止策

(1) 運転士による分岐用レールの開通方向確認について、分岐用レール手前で一旦停車し、指差呼称を行うこととした。

なお、運転士が車両に乗車した状態で目視確認が困難な場合は、降車して開通方向を確認する。

(2) 分岐用レールの確認方法の注意点および乗車した状態で確認ができない場合の対処法について、毎年、運転士を対象に研修を実施することとした。

(3) 雨水が当該分岐用レール付近に流入することにより、雨水とともに異物が分岐用レール内に混入することを防止するため、新たに排水設備を設置する（令和6年3月に施工完了予定）。